

| 分野 | 授業教目名 | 単元名 | 単位数 | 時間数 | 履修時期 | 担当教師 |
|----------------|----------|------|-----|-------|-------|------|
| 専門分野Ⅱ 母性看護学 | 母性臨床看護論Ⅱ | 看護技術 | 1 | 12/30 | 2年次後期 | 高野佳子 |

| | |
|----------------|---|
| テキスト(発行所) | ナーシング・グラフィカ 母性看護学②母性看護技術(メディカ出版) |
| テキスト以外の教材、参考図書 | 1. カラー写真で学ぶ 妊産褥婦のケア 医歯薬出版株式会社 2. カラー写真で学ぶ 周産期の看護技術 医歯薬出版株式会社 |

| 学習のねらい | 産褥期の母親と新生児に関わる基本的なケアを学び、適切な看護技術援助ができる。 | |
|-----------------|--|---------------|
| 学習目標 | 1. 妊婦健診に必要な技術を理解する 2. 呼吸法・産痛緩和の援助技術を理解する。 3. 産褥体操・骨盤底筋体操を理解し、子宮復古の促進について考えられる。 4. 乳房管理がわかる 5. 児の効果的な吸着(ラッチ・オン)について理解し母親と児の愛着行動を高めることができる。 6. 児の清潔援助技術が理解できる | |
| 学習スケジュール | | |
| 回数 | 主 題 | 履修形態 他 |
| 1回 | 1. 母性看護技術 2. 妊婦健診 レオポルド 3. 環境 | 講義 |
| 2回 | 1. NST パルトグラム 2. 妊婦体操 3. バースプラン 4. 産痛緩和 呼吸法 | 講義 (実習室) |
| 3回 | 1. 赤ちゃんの抱き方・新生児の全身の観察 2. ドライテクニックと沐浴法 | 講義 演習(実習室) |

| 回数 | 主 題 | 履修形態 他 |
|----|---|---------------|
| 4回 | 1. 産褥期の母親と新生児に関わる基本的なケアと指導 | 発表 (実習室) |
| 5回 | 1. 産褥期の母親と新生児に関わる基本的な看護 ①事例 机上シミュレーション | GW 発表 |
| 6回 | 1. 産褥期の母親と新生児に関わる基本的な看護 ②事例 シミュレーション | 講義 演習(実習室) |

| | |
|---------------|--|
| 単位認定 の方法 | <p>1. 母性臨床看護論Ⅱの中の、看護技術は12時間の講義である。他に産褥期の看護10時間、新生児期の看護8時間を合わせた30時間の中で24時間以上の出席があることとする。</p> <p>2. 母性臨床看護論Ⅱ(産褥期の看護30点、新生児期の看護30点、看護技術40点)は100点満点で、60点以上を合格とし単位認定とする。</p> <p>3. 看護技術の試験は、パフォーマンス課題 10点 筆記試験 30点 合計40点とする。</p> |
| 受講上の アドバイス | <p>妊娠、分娩、産褥は正常に経過するのが本来ではあるが、異常経過し母親と新生児に影響を及ぼすことがある。産褥期の母親は分娩後の疲労が残るため、育児の基本的技術を習得するために、身体的・精神的安楽に配慮したケアを提供し指導することが大切である。また、初産婦であるか経産婦であるかによって指導内容が大きく違ってくる。</p> <p>指導では興味、関心のある指導内容の提供方法を考えて、適切な看護技術援助を考え講義の中で<u>模擬指導</u>を行う。産褥期の母親と新生児に関わる基本的なケアと指導を考えてほしい。</p> |